

## 「阿久根中学校の阿久根ハンヤ節踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	阿久根市立阿久根中学校
2. 学年・人数	1年生 83人 2年生 98人 3年生 87人 計 268人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年7月12日(金) 保健体育(本校グラウンド) 令和6年7月18日(木) 総合的な学習の時間(本校グラウンド) (2) 発表の日時・場所 令和6年7月27日(土) 阿久根みどこい夏祭り(阿久根市中央公園付近)
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 阿久根ハンヤ節踊り(あくねはんやぶしおどり) (2) 由来 夏祭りやひな女祭りなど阿久根各所で踊られる「ハンヤ節踊り」で歌われるハンヤ節は、阿久根を代表する民謡である。もともとは奄美の「六調(ろくちょう)」をもとに、船乗りたちにより阿久根・牛深に運ばれて「ハンヤ節」を形づくり、船乗りにより全国各所で地域によって形を変え広がったと考えられている。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	本校では、地域の日本舞踊藤間流師範を講師に招聘し、ハンヤ節踊りとおはら節踊りの練習を総合的な学習の時間や保健体育の授業で実施している。コロナ以前は、体育大会で発表していたが、現在は体育大会の規模縮小もあり、阿久根みどこい夏祭りに出場し発表している。 学校と地域が連携協力しながらハンヤ節踊りを継承していくために、ハンヤ節踊りの練習を授業の一環として位置付け、全生徒で取り組んでいる。阿久根みどこい夏祭りでは、生徒会や部活動の生徒を中心に披露している。また、保護者にも参加を呼び掛けて、親子で参加する家庭も多くなっている。
6. 取組の様子(練習状況、発表の場等)	  <p style="text-align: center;"> <span style="margin-right: 100px;">全校生徒での練習の様子</span> <span>阿久根みどこい夏祭りでの発表の様子</span> </p>
7. 感想・意見(参加児童生徒・保護者・保存会・教員等)	<p>【生徒】 部活動の先輩や後輩、保護者の方と阿久根みどこい夏祭りのハンヤ踊りに参加した。暑い中だったが、みんなで楽しく踊ることができた。郷土の伝統芸能を今後も大切に自分たちができる伝承活動をしていきたいと思った。</p> <p>【教職員】 発表には、部活動の生徒や保護者を中心に約100名の参加があり、郷土芸能であるハンヤ節踊りを通して、生まれ育っている地域への誇りや愛着を子どもに育みたいという親の願いがあるように思われる。</p> <p>【保存会から】 今後も地域の伝統芸能の一つである阿久根ハンヤ節踊りを継承していくために、学校の教育活動に協力をしていきたい。</p>